

電算機演習 1 (2006) ガイダンス

池口 徹

埼玉大学 大学院 理工学研究科 研究部 数理電子情報部門

338-8570 さいたま市 桜区 下大久保 255

Tel : 048-858-3577, Fax : 048-858-3716

Email : tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp

URL : <http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/~tohru>

講義の担当 , TA

□ 講義担当

- 池口 徹
- 埼玉大学 大学院 理工学研究科 研究部 数理電子情報部門
- Email : tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp
- URL: <http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/~tohru/>
- Tel 048-858-3577 (ほとんど出ない)
- 居室: 埼玉大学工学部総合研究棟 506 室 (or 505 室)
- オフィスアワー : 講義終了後 or 居室に来てくれたら随時

□ Teaching Assistants

- 鈴木佳雄 (山本研 M2)
- 今福珠英 (山本研 M1)
- 吉田光範 (八嶋研 M1)
- 高城順平 (古川研 M1 , 前期のみ)
- 山口幸司 (仁木研 M1 , 後期のみ)

講義の目標

広義の情報リテラシーを身につけることを目標とします。
具体的な内容は、以下の通りです。

□ 前期の内容:

- コンピュータを使う
特に，Unix 系 OS を使えるようになるのが目標
- 文書を作成
Emacs というエディタを使いこなす
L^AT_EX により文書作成する
のが目標
- ホームページの作成

□ 後期の内容:

- Java を通じた，コンピュータプログラミングの学習
- 動きのあるホームページの作成技術の習得

教科書と参考書

□ 教科書:

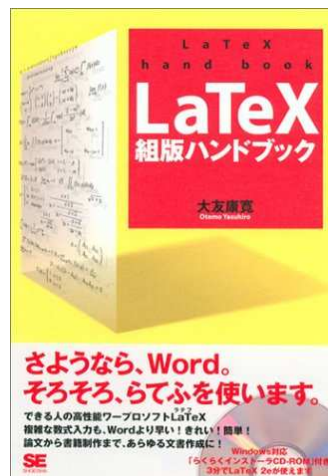
– 主として、前期から使います。

1. 藤原 誠: 便利なツール Emacs らくらく入門, 技術評論社, 2004.
2. 大友 康寛: L^AT_EX 組版ハンドブック, 翔泳社, 2005.

– 主として、後期から使います。

3. 戸川 隼人: ザ・Java 2 – 対話的に動くホームページの作成技術 –, サイエンス社, 2003.

□ 参考書 適宜紹介します。



授業計画 (前期)

1. コンピュータを使う
コンピュータを使うための基礎的な手順を学ぶ。
2. Unix 系 OS の使い方を学ぶ。
3. Emacs (エディタ) の使い方を学ぶ。
 - 『出来るだけキーボードから手を離さない』方法
 - = 『出来るだけマウスを使わない』方法
4. 文書を作成する
 - マークアップ言語とは何か。
 - L^AT_EX で文書を作る。
5. 美しい文書を作成する
L^AT_EX を自由自在に使いこなす。
6. ホームページを作成する
HTML 言語とはなにか。ホームページの作成の基礎。

授業計画 (後期)

1. Java プログラミング

- (a) コンピュータプログラミングとは何か .
- (b) Java とは何か . 何ができるか .
- (c) 図形の表示
- (d) 変数を使う
- (e) 文字の入出力
- (f) マウスを使う
- (g) アニメーション

2. 動きのあるホームページの作成

講義に関する注意，評価基準

- 休講情報を含む最新の授業計画は，
担当者講義サポートページを参照してください
(<http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/~tohru/Lectures/>)
 - 資料などのアクセス
ユーザ guest, パスワード A04468
- 評価基準
 1. 出席，演習課題，期末試験により総合点を算出する．
 2. 出席が 2/3 以上の者が単位取得可能 (必要条件) ．
 3. 総合点が 60%以上 70%未満を可，70%以上 80%未満を良，80%以上を優とする．

総合点の算出方法について

総合点は、以下の和としています。

- **出席 60%**
 - 単に、端末演習室に存在するだけでは出席とはならない方法を採用します。
 - 具体的な、出席点算出法については、次のスライド！
- **宿題 20%**
 - 講義中に指定した宿題の提出
 - 内容の評価
- **期末試験 20%**
 - 学期末各一回
 - 実技試験を予定

出席点の評価方法について

□ 第 i 回目の講義の出席点 z_i を以下により算出します。

1. TA による出席確認点 (授業開始前) $a_i = \begin{cases} 1 & (\text{出席}) \\ 0 & (\text{欠席}) \end{cases}$

2. 講義ノートを作成 (授業中)

⇒ 講義で行ったこと, 計算機の使い方, 結果などを
ノートに詳細に記録すること。

3. 講義ノートの評価点 (授業終了前) ($0 \leq E_i \leq 100$)

⇒ ノートのチェックを毎回行う。

□ 講義回数を N として, 出席点 Z は以下により算出します。

$$Z = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N z_i = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N a_i E_i$$

講義ノートの作成

- 講義ノートを第一回目までに準備してください。
- 以下の場合、第 i 回目の講義ノートの評価点を 0 点にします。
 - 第 i 回目の講義において、講義ノートがない ($i = 1$) 。
 - 第 i 回目の講義において、第 $i - 1$ 回目までに作成した講義ノートがない ($i > 2$) 。
 - 第 i 回目の講義において指示した課題の結果が、第 $i + 1$ 回目の講義開始時までにはノートに記録されていない。
- ノートの様式
 - サイズ、スタイルは自由です。
 - 各自の使いやすいもので OK です。
 - ルーズリーフなどは避けたほうが良いと思われる。